

腫瘍内科

【研修目標】

科ごとの到達目標 GIO：

- ・がん診療の基本を理解する。
- ・がんに対する診断と標準治療を理解する。
- ・がん患者における多面的な問題に対応する。

行動目標 SBOs：

- 1) 問診と身体所見、臨床検査によって必要な情報を収集する。
- 2) がん腫と病期を診断するための検査を計画する。
- 3) 標準治療とそれに適した支持療法を実施する。
- 4) 患者と家族に病状を説明する。
- 5) 多職種と連携して、チーム医療を行う。

【研修方略】

研修期間：2年次選択

研修内容：

- ① 担当患者に対して問診を行い、病歴、既往歴、家族歴などを聴取する。身体診察と基本的な臨床検査を行う。さらに必要な検査（画像検査、内視鏡検査、病理検査など）を計画し、必要に応じて関連する診療科にコンサルトする。
- ② がん腫と病期を診断し、患者の年齢や全身状態、社会的背景を考慮し、標準的な治療を提案する。手術、放射線治療、薬物療法などを検討する。
- ③ 指導医とともに、がんに対する薬物療法を行う。予想される有害事象に対して必要な支持療法を行う。
- ④ 患者と家族の心理状態に配慮しつつ、検査結果、診断、治療方針、今後の見通しについて、指導医とともに説明する。
- ⑤ がん性疼痛などのがんに伴う症状に対して、指導医とともに緩和医療を行う。必要に応じて緩和ケア内科など必要な診療科や多職種と連携する。

病棟で週に1人から2人の新入院患者を指導医とともに担当する。レポート作成に必要な疾患を担当できるように指導医が配慮する。

週間スケジュール：

曜日	午前	午後
月	オリエンテーション	病棟診療
火	外来診療	病棟診療
水	外来診療	消化器内科と検討会
木	外科、消化器科と検討会	病棟診療とカンファレンス
金	外来診療	病棟診療

【研修評価】

SBOs	領域	目的	方法	測定者	時期
①	解釈	形成的	観察記録	指導医	カンファレンス
②	問題解決	形成的	観察記録	指導医	カンファレンス
③	問題解決	形成的	面接	指導医	カンファレンス
④	態度	形成的	面接	指導医	診療
⑤	態度	形成的	面接	指導医	診療

指導医との面接によって、内科診療において必要となるがん診療の理解の程度を評価する。研修中にフィードバックを繰り返し、形成的評価を行う。作成レポートを合格水準に達するまで指導する。